





日本史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. これは日本史Bの問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
2. この問題用紙は19ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ち帰らず、必ず提出すること。
11. この問題用紙は必ず持ち帰ること。
12. 試験時間は60分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	  

〔 I 〕 次の史料 A・B を読み、以下の設問に答えなさい。なお、適宜、表記を改めた。

史料 A

- 一 広ク会議ヲ興シ万機 1 ニ決スベシ
- 一 上下心ヲ一ニシテ盛ニ経綸ヲ行フベシ
- 一 官武一途庶民ニ至ル迄各 其志ヲ遂ゲ人心ヲシテ倦マザラシメン事ヲ要ス
- 一 旧来ノ陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クベシ
- 一 智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スベシ

我国未曾有ノ変革ヲ為ントシ、朕躬ヲ以テ衆ニ先ンジ、天地神明ニ誓ヒ、大ニ斯国是ヲ定メ、万民保全ノ道ヲ立ントス。衆亦此旨趣ニ基キ、協心努力セヨ。

(以下略)

(出典：『法令全書』)

史料 B

臣等伏シテ方今政權ノ帰スル所ヲ察スルニ、上帝室ニ在ラズ、下人民ニ在ラズ、而 独有司(注1)ニ帰ス。夫有司、上帝室ヲ尊ブト曰ザルニハ非ズ、而帝室漸ク其尊榮ヲ失フ、下人民ヲ保ツト曰ザルニハ非ラズ、而政令百端、朝出暮改、政情 実ニ成リ、賞罰愛憎ニ出ヅ、言路壅蔽(注2)、困苦告ルナシ。夫如_レ是ニシテ天下ノ治安ナラン事ヲ欲ス、三尺ノ童子モ猶其不可ナルヲ知ル。因 仍改メズ(注3)、恐クハ国家土崩ノ勢ヲ致サン。臣等 2 ノ情自ラ已ム能ハズ、乃チ之ヲ振救スルノ道ヲ講求スルニ、唯天下ノ公議ヲ張ルニ在ル而已。天下ノ公議ヲ張ルハ民撰議院ヲ立ルニ在ル而已。則有司ノ権限ル所アツテ、而上下其安全幸福ヲ受ル者アラン。請、遂ニ之ヲ陳ゼン。

夫人民、政府ニ対シテ租税ヲ払フノ 3 アル者ハ、乃チ其政府ノ事ヲ与知可否スルノ権理ヲ有ス。是天下ノ通論ニシテ、復 喋々(注4)臣等ノ之ヲ贅言スルヲ待ザル者ナリ。故ニ臣等窃ニ願フ、有司亦是大理ニ抗抵セザラン事ヲ。

(中略)

かつそれ
且夫政府ノ職、其宜シク奉ジテ以テ目的トナス可キ者、人民ヲシテ進歩スルヲ
得セシムルニ在リ。(中略)然ラバ則、今日我政府ノ宜シク以テ其目的トナス可キ
者、則民撰議院ヲ立テ、我人民ヲシテ其敢為ノ氣ヲ起シ、天下ヲ分任スルノ
3 ヲ弁知シ、天下ノ事ニ参与シ得セシムルニ在リ。則闔国(注5)ノ人皆同
心ナリ。

それ
夫政府ノ強キ者、何ヲ以テ之ヲ致スヤ。天下人民皆同心ナレバ也。臣等必ラズ
遠ク旧事ヲ引イテ之ヲ証セズ、且昨十月政府ノ^(オ)変革ニ就イテ之ヲ^{きゆうきゆう}驗ス。岌々
乎(注6)其危哉。我政府ノ孤立スルヤ何ゾヤ。(中略)今民撰議院ヲ立ルハ則政
府人民ノ間、情実融通、而相共ニ合テ一体トナリ、^(カ)国始メテ可以強、政府始メ
テ可以強キナリ。

(中略)

すで すで わがくに
臣等既ニ已ニ今日我國民撰議院ヲ立テズンバアル可カラザルノ所以、及今日我
國人民進歩ノ度能ク斯議院ヲ立ルニ堪ルコトヲ弁論スル者ハ、則有司ノ之ヲ拒ム
者ヲシテロニ^{しや}藉スル所ナカラシメントスルニハ非ラズ。斯議院ヲ立、天下ノ
1 ヲ伸張シ、人民ノ通義権理ヲ立テ、天下ノ元氣ヲ鼓舞シ、以テ上下親
近シ、君臣相愛シ、我帝國ヲ維持振起シ、幸福安全ヲ保護センコトヲ欲シテ也。
請、幸ニ之ヲ^{さいわい}扱ビ^{えら}玉^{たまわ}ンコトヲ。

(注1)有司：官吏，官僚，役人。

(注2)言路壅蔽：言論の道がふさがれている。

(注3)因仍改メズ：今まで通りで変わらない。

(注4)喋々：ぺらぺらと口数が多いさま。

(注5)闔国：全国。

(注6)岌々乎：危険なさま。

(出典：『日本近代思想大系 9 憲法構想』)

問 1 史料Aは明治新政府の国是を示した文書である。空欄 に入る適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。なお、史料Bの空欄 にも同じ語句が入る。

問 2 史料Aの下線部(ア)で示されている明治新政府の対外政策の基本方針を何と
いうか。適切な語句を漢字4字で解答欄に書きなさい。

問 3 史料Aに基づいて政治の基本的組織を規定した文書を何と
いうか。適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。

問 4 史料Aの作成に関わった土佐藩士は誰か。その人物の姓名を漢字で解答欄
に書きなさい。

問 5 史料Bは、ある新聞に掲載されて反響を呼び、自由民権運動の口火となっ
た。掲載された新聞の名称は何か。適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。

問 6 史料Bは、下線部(イ)に見られるように、国家の崩壊を招きかねないとし
て、有司専制を批判している。この文書を作成したグループの名称にも注意
しながら、空欄 に入る適切な語句を、漢字2字で解答欄に書きな
さい。

問 7 史料Bの下線部(ウ)および下線部(エ)は、国民の政治参加の権利(権理)が、国
家を支える国民の役割と密接不可分であることを主張している。二つの空欄
 に入る適切な語句を、漢字2字で解答欄に書きなさい。

問 8 史料Bの下線部(オ)は何を指すか。適切な語句を解答欄に書きなさい。

問 9 史料Bは、下線部(カ)のように、国民の政治参加によって官民一体となり、
国家・政府が強力になると主張している。こうした主張に窺われる、国家の
独立と対外的な勢力拡張を目指す思想を何と
いうか。適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。

問10 明治新政府の国是を示した史料Aの論理と政府を批判する史料Bの論理は似通っていることに注意しながら、自由民権運動において史料Aが果たした役割について、解答欄に80字以内で書きなさい。

〔Ⅱ〕 次の史料は、明治十四年政変直後に大蔵卿となった人物がまとめたものである。文章を読み、以下の設問に答えなさい。なお、適宜、表記を改めた。

幸ニ余ノ意見ハ内閣ノ容ルヽ所トナリシカ此事ヲ実行スルトキハ紙幣ノ価格回復ニ從ヒ現ニ呈出セル虚影ノ景氣ハ消滅シ物価ハ下落シ世間ハ必ラス一度不景氣ノ狀況ニ沈ムコトヽナル可ク全国ノ農民ハ米価ノ下落地租負担ノ加重ヨリ商工業者ハ其商品ノ売行悪シキヨリ^(ア)有力ナル反対ノ声四方ニ起ル可キヲ思ヒ而シテ其時ニ至リ実行ヲ中止スルカ如キコトアラハ初ヨリ着手セサルニ若カサルヲ以テ更ニ親シク紙幣整理ノコトハ国家ノ大事ナルカ故ニ必ラス之ヲ決行セサルヘカラスト^(イ)雖モ之ヲ決行スルニハ多大ノ困難ニ遭遇スルコトヲ予期セサルヲ得ス。

若シ困難ニ逢ヒ半途ニ其事ヲ廢スルカ如キコトアラハ初ヨリ之ヲナサヽルニ如カサル此意ヲ上奏シテ細ニ利害ヲ陳ヘタルニ幸ニ余ノ意見ヲ嘉納セラレタルヲ以テ(中略)。

是ヨリ先明治十三年ノ頃政府部内ニ於テ五千万円ノ外債ヲ募リテ紙幣ノ銷却ヲ行ハント建議セシ人アリシモ其議ハ行ハレサリシカ^(ウ)(中略)。

賞与金付証券ヲ広く内外ニ発行セシメ之ヨリ得ル資金ヲ以テ政府紙幣ノ銷却ニ充テントノ議ヲ提出セリ此議ハ一時内閣ニ於テ略之ヲ容ルヽコトニ決定シタル際ニ余ハ大蔵卿トナリタレハ其ノ必ラスシモ全ク我国ノ利益トナルヘカラサルモノナルコトヲ思ヒ直ニ先ツ之カ中止ヲ求メ之ヲ実行セシメサルコトヲ得タリ。

(出典：『日本金融史資料』明治大正編)

問 1 この資料の著者はその後初代大蔵大臣となるが、その内閣で実施された施策でないものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 法制局の設置 B 華族令の公布 C 帝国大学令の公布
D 保安条例の制定 E 枢密院の創設

問 2 著者が学んだ藩校はどこか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 致道館 B 興議館 C 養賢堂
D 造士館 E 明倫堂

問 3 下線部(ア)にあるように著者の施策で経済は低迷するが、この人物が行った増税策に当てはまらないものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 醤油税の新設 B 地租率の引き上げ
C 酒造税率の引き上げ D 煙草税率の引き上げ
E 菓子税の新設

問 4 下線部(イ)の施策を行うに至った当時の経済状況の説明のうち、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 国立銀行は発行銀行券の正貨兌換を義務付けられていた。
B 西南戦争の勃発により財政歳出が増加したため政府紙幣を濫発した。
C 投機的な動きもあり米価は大きく上昇した。
D 近代化政策を目的に積極財政を行ったため財政事情は厳しかった。
E 輸入超過が続き正貨準備金が減少した。

問 5 下線部(ウ)の人物はだれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 井上馨 B 大隈重信 C 西園寺公望
D 松方正義 E 渡辺国武

問 6 下線部(ウ)の人物に関する説明のうち、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 明治十四年の政変で参議を罷免された。
- B 殖産興業政策を進め、積極財政を推進した。
- C 下野した後に大蔵大臣となり、さらには内閣総理大臣にもなった。
- D 1882年に立憲改進黨を創立した。
- E 国会の早期開設を主張する意見書を提出した。

問 7 1882年に設立された中央銀行の説明のうち、正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 政府の監督のもとにおかれ、総裁は政府によって任命された。
- B 1885年に発行された最初の日本銀行券は金兌換券であった。
- C 形式的には民間企業であったが、資本金 1000 万円全額が政府出資であった。
- D アメリカの中央銀行にならって設立された。
- E 現在の日本銀行本店の設計は、ジョサイア・コンドルが行った。

問 8 中央銀行に先立って設立された国立銀行に関する説明のうち、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 国立銀行はアメリカの制度にならって設立された。
- B 最初の国立銀行は、渋沢栄一が中心となって東京に設立させた。
- C 中央銀行が設立された後も、新たな国立銀行の設置が続いた。
- D 1876年の国立銀行条例改正後、華族等の金禄公債証書での出資による国立銀行が設立された。
- E 国立銀行の数はピーク時に 150 行を超えた。

問 9 著者が行った政策で農民の生活は困窮し，農民一揆が頻発して自由民権運動と結びつくようになった。これらの騒擾事件に含まれないものはどれか。

A～Eから一つ選び，解答欄にマークしなさい。

- A 秩父事件 B 福島事件 C 竹橋事件
D 飯田事件 E 高田事件

問10

大学より訂正があり、問題を削除します。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

日本における近代的国家体制の確立には、立憲的な諸制度の整備が必要とされていた。大日本帝国憲法の制定にあたっては伊藤博文らが起草に関わり、それに国内外で、外国人の 1 らから助言を受けて、起草が進められた。完成した憲法草案について、枢密院において修正を経た後、1889年に大日本帝国憲法が発布された。

この憲法の下で創設された帝国議会は天皇主権の下でさまざまな制約を受けていたものの、議会設置根拠が規定された意味は大きい。帝国議会は、貴族院、衆議院の両院からなり、天皇に協賛して立法権を行使し、また政府提出の予算案の審議・議決にあたることとされたが、一方で、宣戦・講和・条約締結・軍隊の統帥^(ア)・首相の指名などについては権限外とされていた。また、予算審議権についても制限があり、予算不成立の場合は、政府が前年度の予算を施行できることとされていたほか、皇族・華族・勅任議員からなる貴族院が、公選の衆議院とほぼ同等の権限をもつなど、今日の国会とはその地位や権限において大きな違いがあった。

もともと、帝国議会の開設は、「藩閥」政府と政党にとって、新しい共通の政治的舞台の幕開けであった。政府は憲法制定にあたり、政党の意向に左右されることなく、不偏不党の立場から国民本位の政策を遂行する超然主義を宣言したが、1888年～89年には、後藤象二郎や 2 を中心として民権派の流れをくむ諸勢力を結集した大同団結運動が全国的に広まり、政社が続々と結成された。

1890年には、第一回衆議院議員総選挙が行われ、民党各派は吏党をしのいで^(イ)^(ウ)過半数の議席を占めた。第一議会から第六議会までのいわゆる初期議会^(エ)においては、民党は衆議院の予算審議権などを武器として、しばしば政府と激しく対立した。こうした状況に対して、政府部内でも伊藤博文や陸奥宗光らが民党と妥協し、積極的にこれと手を握って政治を運営してゆくことを主張した。一方、民党の側も政府への反対だけでは「民力休養」の実があがらないことを悟り、政党を政策能力を身につけた現実主義的なものに改革し、政府と協力して政治の責任を分

担していこうとする状況が生まれてきた。

ところで議会の設置は、国会開設に先立ち、地方において先行したとってよい。政府は、1878年に三新法を制定したが、その1つが府県会規則である。これは地方議会を設けるにあたっての、^(オ)運営の方針を定めたものである。すでに、府県知事の独自の判断で地方民会が一部府県に設置されていたが、府県会規則の制定によって全国的に統一的規則がつくられ、1879年、全国一斉に公選による府県会が開催された。しかし、府県会規則以降の諸規定には、いずれも議会設置の根拠となる規定はなく、「議会を置く」という規定を見るのは1943年の都制の成立を待たなければならなかった。日本の地方制度は、大日本帝国憲法の制定に先立って整備が進められたものであり、それは帝国議会の開設にともなって予想される政府と政党の衝突や政争の激化を地方政局へおよぼさないためのものであったともいえる。

実際、府県制の下での府県会における府県会議員選挙は、それまでの直接選挙の方式を改めて、郡会・市会などからの間接選挙によることとし、郡会議員の選挙では、一部に大地主の互選の制度を定め、また市会議員・町村会議員の選挙は、直接国税2円以上を納める有権者の直接選挙で選ばれた。それらの選挙では、^(カ)有産者に有利な等級選挙法を採用するなどの配慮をし、「財産と教養のある名望家」が議員に選ばれるような制度をつくって地方統治の基礎とし、国政の混乱が生じてそれが地方に波及しないよう努めたのである。

^(キ)戦後日本の民主政治の下では、国・地方におけるこのような議会や行政のあり方が大きく転換した。しかし、国政や自治体政治、行政制度などについて現在も^(ク)選挙制度改革をはじめ試行錯誤が続けられている。

問1 空欄 に該当しないのはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A モッセ B ロエスレル C ベルツ
D グナイスト E シュタイン

問 2 下線部(ア)について述べた以下の文章のうち、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 統帥権は天皇が有していたが、具体的な運用については、陸海軍の統帥部が担当した。
- B 議会は、天皇の統帥権の一部を制限する権利を有していた。
- C 参謀総長や軍令部長、陸・海軍大臣は、天皇に直接上奏することができた。
- D 大日本帝国憲法の制定以前から軍人勅諭で、陸海軍は天皇の軍隊であることが強調されており、統帥権の独立という考え方が示された。
- E 1878年に創設された参謀本部は、陸軍の最高軍令機関であり、軍隊の動員・作戦計画などを行った。

問 3 空欄

2

 に該当する人物はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 寺島宗則 B 星亨 C 三島通庸
- D 青木周蔵 E 樺山資紀

問 4 下線部(イ)のうち、「君民同治」を説き、イギリス流の二院制の実現を主張して1882年に結党された民党はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 自由党 B 困民党 C 立憲改進黨
- D 立憲帝政党 E 憲政党

問 5 下線部(ウ)についての説明として、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 大成会は、第一議会で政府と対立した政党であり、翌年には解散した。
- B 吏党は、藩閥政府を支持する政党で、民党と対立した。
- C 国民自由党は、第一議会で当選した議員 5 人の小会派であったが、翌年には解党した。
- D 吏党は、少数派から脱却することができず、離合集散を繰り返した。
- E 立憲帝政党は、主権在君説を掲げ神官や官吏らの支持を集めた。

問 6 下線部(エ)について、以下の文章の中で誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 第一議会では、民党は「民力休養・政費節減」をスローガンに行政整理を主張し、政府提出の予算案を大幅に削減しようとして、第一次山県内閣と対立した。
- B 第 2 回総選挙では、内相の品川弥二郎が激しい選挙干渉を行って民党候補者の選挙活動を妨害したが、吏党は過半数の議席を占めることができなかった。
- C 第二議会では、海軍拡張をはじめ政府の新規事業計画の多くが否決され、予算案を大削減されたことから、最初の衆議院解散が行われた。
- D 第四議会では、第 2 次伊藤内閣が軍艦の建造などの軍事予算削減を迫られたが、天皇の「和衷協同の詔書」によって、官吏の俸給の増額などを自由党に認めさせ、これを乗り切った。
- E 第六議会は、改進黨などの対外強硬派が条約改正問題で伊藤内閣を弾劾し、衆議院解散が行われた。

問 7 下線部(オ)に関連する以下の文章の中で、正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 三新法の一つである戸籍法は、自治体の基本的な単位として大区・小区を置き、地方制度の基礎的な区域のあり方を定めた。
- B 郡区町村編制法では、道府県を一時的に廃止し、代わりに郡制を復活させ、官選の郡長をおいた。
- C 三新法の一つである地方税規則は、従来の府県税や民費を地方税に統一して徴収するよう定めた。
- D 府県会規則では、府県会に地方税の審議、予算案の議定などの権限が与えられ、議決には府知事・県令の認可や承認を必要としなかった。
- E 三新法は、主に、大阪会議の結果を受けて設立された元老院において審議され、地方官会議での府知事・県令らの議を経ることはなかった。

問 8 下線部(カ)の有権者の直接選挙は国政でも行われていたが、選挙制度改革について述べた以下の文章のうち、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 納税額の撤廃などを求める普選運動は、すでに 1890 年代には始まっており、1911 年には初めて衆議院を通過したが、貴族院で否決された。
- B 普選運動は、大正デモクラシーの盛り上がりの中で支持を集め、1920 年になると野党であった憲政会・立憲国民党が正式に普通選挙の実現を綱領にかかげるようになった。
- C 普通選挙法案は、1925 年に憲政会単独の加藤高明内閣の下で成立したが、立憲政友会は最後まで法案に反対した。
- D 1945 年に改正された衆議院議員選挙法により、婦人参政権も認められ、満 20 歳以上の男女に選挙権が与えられて、有権者は全人口の 50% まで拡大した。
- E 1994 年に成立した小選挙区比例代表並立制では、衆議院の選挙区を小選挙区と比例代表区に分け、有権者は小選挙区の候補者名とは別に、比例代表区では政党名で投票できることとなった。

問 9 下線部(キ)に関連して、戦後の地方自治について述べた以下の文章のうち、正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

A 都道府県の知事は、戦前の官選知事から住民による公選知事へと変わったが、身分は、1960年代まで官吏のままであった。

B 内務省が廃止され、人口5,000人以上の市町村には自治体警察が設置された。

C 郡は、地方自治法の規定によって廃止され、単なる地理的区分となった。

D 1960年代後半から、社会党・共産党系の知事・市町村長が数多く誕生し、革新自治体と呼ばれたが、大都市には波及しなかった。

E 地方自治法の制定によって、自治体政治における議院内閣制の仕組みが確立した。

問10 下線部(ク)について、小選挙区比例代表並立制の区割りを行った内閣の首相はだれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

A 村山富市 B 細川護熙 C 羽田孜

D 宮沢喜一 E 海部俊樹

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

1543(天文12)年、ポルトガル人を乗せた中国船が九州南方の種子島に漂着した。このとき、島主の種子島時堯は、ポルトガル人のもっていた鉄砲を購入し、^(ア)家臣にその使用法と製造法を学ばせた。これを契機に、日本はポルトガルと貿易を開始し、のちにはスペインとも貿易を行うようになった。いわゆる南蛮貿易である。

南蛮貿易は、キリスト教宣教師の布教活動と一体化して行われた。「天下布武」^(イ)の印判を用いつつ、全国統一の事業を進めた織田信長は、宣教師に対して好意的な態度をとり、^(ウ)その布教活動を支援した。他方、信長のあとを継いで全国統一を完成した豊臣秀吉は、キリシタン大名の 1 が長崎港周辺の土地をイエズス会の教会に寄付していることを知って、まず大名らのキリスト教入信を許可制にし、さらにバテレン(宣教師)追放令を出して宣教師の国外追放を命じた。しかし、秀吉は従来通り南蛮貿易を奨励したので、キリスト教の取り締まりは不徹底に終わった。

江戸時代になると、幕府は初めキリスト教を黙認し、諸外国との外交・貿易も^(エ)積極的に行った。この時期、海外に移住する日本人も増え、東南アジアの各地に自治制をしいた日本町がつくられた。しかし、幕府はキリスト教の布教がスペイン・ポルトガルの侵略をまねくと恐れ、禁教政策を徹底するとともに、また西国の大名が貿易で富強になることを懸念して、^(オ)貿易を幕府の厳重な統制下に置こうとした。こうして、1624(寛永元)年にはスペイン船の来航が、そして1639(寛永16)年にはポルトガル船の来航が禁止され、日本はいわゆる鎖国^(カ)の状態となった。

鎖国以降、幕府は、長崎・対馬・薩摩・松前という四つの窓口を通して異国・異民族との交流をもった。長崎は鎖国政策のもとで唯一の貿易港であり、オランダ船と中国船だけに来航が許されていた。対馬では、宗氏が朝鮮との外交・貿易^(キ)を独占し、また朝鮮からは計12回の使節が来日した。薩摩の島津家久は、1609(慶長14)年、琉球王国を征服し、これにより琉球は、幕府と中国との「両属」と^(ク)いうかたちをとることになった。蝦夷ヶ島の和人地に勢力をもっていた

2 氏は、近世になると松前氏と改称し、幕府よりアイヌとの交易独占権を保障された。こうして、対外貿易の公的な窓口は長崎一港に制限されたものの、幕府は、長崎の出島におけるオランダおよび中国との貿易だけではなく、対馬藩の日朝貿易、薩摩藩の琉球貿易、さらには松前藩の北方交易という4つの対外ルートを介して、鎖国体制下においても限定的に諸外国と結びつくこととなった。

問 1 下線部(ア)について、鉄砲の伝来に関する日本側の史料である『鉄炮記』の著者はだれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 桂庵玄樹 B 無学祖元 C 大橋宗桂
D 南村梅軒 E 文之玄昌

問 2 下線部(イ)について、宣教師ヴァリニャーニ(バリニャーノ)に関する説明として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A イエズス会の巡察師として1579(天正7)年に来日した。
B 日本人聖職者を養成するための教育機関であるセミナリオやコレジオを設立した。
C 天正遣欧使節を率いて1582(天正10)年に長崎を出航した。
D 将軍足利義輝の許可を得て、主に畿内で布教した。
E 布教に加え、活字印刷機の輸入にも尽力した。

問 3 下線部(ウ)について、信長の統一事業の一環としての商業政策に関する記述として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 主要な鉱山を直轄にして、天正大判などの貨幣を鑄造した。
- B 自治的都市として繁栄を誇った堺を武力で制圧し、直轄領とした。
- C 安土の城下町に楽市令を出して、商工業者に自由な営業活動を認めた。
- D 物資流通の円滑化をはかるために、関所の撤廃を進めた。
- E 貨幣流通の円滑化をはかるために、撰銭令を発令した。

問 4 空欄 に入る人名はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 大友義鎮
- B 有馬晴信
- C 大村純忠
- D 細川忠興
- E 高山右近

問 5 下線部(エ)について、江戸時代初期の外交・貿易に関する記述として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 豊後に漂着したオランダ船リーフデ号の航海士ヤン＝ヨーステンと水先案内人のウィリアム＝アダムズが幕府に捕縛され、強制送還された。
- B 朱印船貿易で、日本は生糸・絹織物・砂糖などを輸出し、海外から銀・銅・鉄などを輸入した。
- C 仙台藩主の伊達政宗は、家臣の田中勝介をスペインに派遣してメキシコと直接貿易を開こうとしたが、その目的は果たせなかった。
- D 幕府は糸割符制度を設けて、糸割符仲間と呼ばれる特定の商人らに輸入生糸を一括で購入させ、ポルトガル商人らの利益独占を排除した。
- E オランダは1609(慶長14)年に、イギリスは1613(慶長18)年に幕府から貿易の許可を受け、鹿児島に商館を開いた。

問 6 下線部(オ)について、幕府が行った禁教政策に関する記述として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 1612(慶長17)年、直轄領に禁教令(キリスト教禁止令)を出し、翌年これを全国におよぼして信者に改宗を強制した。
- B 島原の乱後、キリスト教徒を根絶するため、とくに信者の多い九州北部などで絵踏を強化した。
- C 1640(寛永17)年、幕領に宗門改役をおき、禁教目的の信仰調査である宗門改めを実施した。
- D 寺院に一般民衆を檀家として所属させ、キリシタンでないことを証明させる寺請制度を設けた。
- E キリスト教だけではなく、修験道・陰陽道なども幕藩権力をおびやかす宗教と見なして弾圧した。

問 7 下線部(カ)について、この語は、ケンペルの著書『日本誌』の一部を「鎖国論」と訳したのが最初である。これを訳したのはだれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 高橋至時 B 高橋景保 C 志筑忠雄
- D 大槻玄沢 E 宇田川玄随

問 8 下線部(キ)について、宗氏と朝鮮との外交・貿易に関する記述として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 宗氏と朝鮮との間に結ばれた己酉約条は、近世日本と朝鮮との関係の基本となる条約であった。
- B 日本から使節を送ることができたのは将軍と宗氏だけであり、対馬から朝鮮への歳遣船は年 20 隻と定められた。
- C 対馬は耕地にめぐまれなかったので、宗氏は朝鮮との貿易で得た利益を知行の代わりとして家臣に与えた。
- D 計 12 回に及ぶ朝鮮からの使節のうち、最初の 3 回は回答兼刷還使と呼ばれ、文禄・慶長の役の朝鮮人捕虜の返還を目的として来日した。
- E 1 回に来日する朝鮮使節団の人数は、約 300 人から 500 人であったが、その経費はすべて朝鮮側の負担であった。

問 9 下線部(ク)について、琉球王国の征服に関する記述として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 薩摩藩は、国王の尚巴志を捕え、服属させた。
- B 薩摩藩は、琉球に石高制を導入したが、刀狩は行わなかった。
- C 薩摩藩は、沖永良部島以北の島々を直轄地にした。
- D 琉球は、黒砂糖のほか、朝貢貿易で得た中国の産物も薩摩藩に上納した。
- E 琉球は、将軍の代がわりごとにそれを奉祝する謝恩使を幕府に派遣した。

問10 空欄

2

 に入る語句はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 安藤
- B 蠣崎
- C 斯波
- D 畠山
- E 土岐

